

科目名	発達障害治療学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科3年		必修・選択 必修
〔授業の目的・ねらい〕							
発達過程作業療法の概要を学ぶ。							
〔授業全体の内容の概要〕							
発達段階を再度確認し、さらに対象疾患も再度復習する。 発達過程作業療法の流れ、手順などを学ぶ。 どんな治療をするかを学ぶ。							
〔講師の実務経験〕							
兵庫県立のじぎく療育センター、兵庫県立光風病院にて、小児作業療法、精神科作業療法に作業療法士として従事							
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕							
発達過程作業療法の流れを理解する。 各疾患の特徴を習得する。							
回数	講義内容						
1	授業オリエンテーション、発達障害評価学復習						
2	発達障害評価学復習						
3	発達障害領域対象疾患の復習						
4	発達障害領域対象疾患の復習						
5	発達障害領域の治療						
6	発達障害領域の治療						
7	発達障害領域の治療						
8	発達障害領域の治療						
	定期筆記試験						

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
イラストでわかる発達障害の作業療法	上杉雅之 監修/ 辛島千恵子 編著	医歯薬出版
作業療法評価学	(編)岩崎テル子	医学書院
【参考テキスト】作業療法学全書6巻 発達障害	(編)田村 良子	協同医書出版

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

定期試験70%・小テストなどの課題30%